

2026 年度 第3回 社会変革チャレンジ賞

公募要領

2026 年 4 月

イノベーションデザイン機構

1. 本事業の概要・趣旨

「社会変革チャレンジ賞」は、イノベーションデザイン機構によるスタートアップの創出が社会課題解決の第一歩となることを願い、優れた技術シーズを有する若手研究者の挑戦を支援する制度です。「研究成果で社会を変えたい！」と意欲あふれる若手研究者に光を当て、社会実装に向けた次のステージへと後押しします。副賞として、自身の技術シーズを社会課題の解決につなげるための研究開発費及び事業開発費として賞金を贈呈するとともに、事業化へ向けた様々なステップを包括的にサポートしていきます。

また、本学は、「善き未来」をビジョンとして掲げ、その実現を目指す研究体制「ビジョナリーイニシアティブ(VI)」を全学的に導入しました。VIは、本学が掲げるミッションの達成と、本学が目指す社会変革の姿を定めたビジョンを具体的に推進するために導入された体制であり、研究分野・ステージを横断した融合研究を推進しています。

こうした研究者の挑戦する気持ちと研究成果を社会実装するためには、産業界との連携が重要です。スタートアップの創出という形で、変化の早い時代に対応すべく自ら新たな市場を開拓することは、従来の共同研究を中心とした既存の産学連携のかたちとは異なり、社会課題の解決を目指す取り組みとして今後さらに重要になってくるはずです。

本賞をきっかけに、若手研究者から新たなムーブメントが起こり、ひいてはVIの推進に資することを心より期待いたします。

2. 本事業の申請等について

- 対象： 将来、事業化を希望する技術シーズ¹を持つ若手研究者であり、自身の研究成果によって、どのような社会課題を解決できるかを追究し、将来の事業化に向けて研究開発と並んで事業開発を進める意欲を有する者²。ただし、事業化を目的としない研究や会社事業の準備(登記等)に係る申請は対象外とします。
- 公募期間： 2026年4月24日(金)～2026年5月29日(金) 正午
- 賞金： 最大200万円(研究開発費及び事業開発費として)
- 採択人数： 10名程度³

¹ 技術シーズとは、特許(出願中あるいは出願予定のものを含む)及びプログラム等をいいます。また、ここでの「技術シーズ」は大学の職務として開発・発明し、本学が権利を有するもの(見込みを含む)を対象とします。

² 受賞者は伴走支援するメンターとともに研究開発及び事業開発を進めるプログラムに取り組むことを求めます。

³ 審査により、採択人数は増減する場合があります。

賞金は、本学の会計項目に該当する経費と同様に扱い、研究開発及び事業開発を目的とした使用をすることが可能です。

区分	内容
物品費	消耗品・設備・備品等を購入するための経費
旅費	申請者者及びエントリーシートに記載した研究参加者等の旅費
人件費・謝金	研究参加者・支援者等の人件費、謝金(ただし、申請者を除く)
その他	その他、研究開発及び事業開発を実施するために必要な経費(特許の出願費用や調査費、等)

3. 申請資格

申請者は、次に記載する①～⑦の条件をすべて満たすこと。

- ① 将来、事業化を希望する技術シーズを持つ若手研究者であり、自身の研究成果によって、どのような社会課題を解決できるかを追究し、将来の事業化に向けて研究開発と並んで事業開発を進める意欲を有する者
- ② 申請時点及び採択後の支援プログラムの期間中に本学の教員・研究員であること⁴
- ③ 年齢制限はありませんが、若手研究者(40歳未満を目安)を優先します。
- ④ 申請者が、エントリーシートに記載する技術シーズの発明者であること、あるいは発明に関わった者であること。(申請にあたり、当該技術シーズに関する特許を取得していることが望ましいが、出願中あるいは出願予定でも応募を可能とする。また、特許出願を行わない研究成果(プログラム等)にもとづく応募も可能とする。)
- ⑤ プログラムの期間中あるいは終了後に Science Tokyo Gap Fund Program⁵等の GAP ファンドへ応募する意欲のあること。
- ⑥ スタートアップの設立や技術シーズの事業化などに関心があること。なお、必ずしも自身が創業者や経営者を目指す必要はありません。
- ⑦ 過去もしくは現在に本賞やイノベーションデザイン機構及び医療イノベーション機構が実施した GAP ファンド、GTIE GAP ファンド⁶に採択されたことがある研究シーズは、同時に採択できません。その場合は、いずれかを辞退いただくこととなりますのでご了承ください。(①～⑥の要件を満たし、過去に採択された技術シーズとは異なる技術を用いた申請を妨げるものではありません。)

⁴ 本プログラムでは学生は対象に含まれません。

⁵ Science Tokyo Gap Fund Program(STGF)

<https://www.idp.ori.titech.ac.jp/be-a-successful-entrepreneur/funding-support/>

⁶ Greater Tokyo Innovation Ecosystem

<https://gtie.jp/>

応募資格に関して不明な点がある場合は、「10.問合せ先」の担当者にご確認ください。

4. 申請方法

① 提出書類

1. エントリーシート:

指定のエントリーシートを使用し、記載されている設問項目を記入してください。

2. 補足資料:

図表による補足が必要な場合は、任意で技術の説明に関するスライド形式の補足資料を提出することができます。なお、補足資料は任意様式とします。

② 提出方法

以下に示す入力フォームから基本情報を記入するとともに、①に記載した提出書類をPDF形式でアップロードしてください。なお、アップロードする際、ファイル名に氏名の記入は必要ありません。

提出用 Microsoft Forms(イノベーションデザイン機構):

<https://forms.cloud.microsoft/pages/responsepage.aspx?id=IbgL9w4edUa-MyJ2PTalPa9ZW8cHCFIPvbfemRxLIInUOVc2TzVNNTI3N0RUUFc1RzFBWUdJTFdJQS4u&route=shorturl>

③ 申請期限: 2026年5月29日(金) 正午

5. 審査

審査は、書面審査と面接審査の2段階で実施されます。審査にあたっては、以下の観点で選出します。

【審査の観点】

- 技術シーズの独創性・新規性
- 技術シーズで解決する社会課題の大きさや重要性
- 「研究で世界を変えたい」という事業化に対する自身の意欲

6. 選考スケジュール

審査については下記スケジュールでの進行を予定しています。面接審査の時期が決まっているため、書面審査の通過者は日程の確保をお願いいたします。

書面審査:	2026年6月2日
書面審査結果通知:	2026年6月4日(予定) 電子メールにて通知
面接審査書類提出:	2026年6月8日 - 10日
面接審査:	2026年6月15日 - 16日(予定)
採択結果通知:	2026年6月18日 - 19日(予定) 電子メールにて通知

7. 表彰式及びキックオフについて

採択者は、表彰式及びキックオフに参加していただきます。表彰式は下記日時を予定していません。採択者は日程の確保をお願いいたします。

日時: 7月6日(木) 14時30分～16時00時 田町キャンパス INDEST 4F ラウンジ

内容: 下記のとおり

- 学長による表彰状の贈呈
- 採択後の研究開発及び事業開発にむけての取り組みについて
- 伴走するメンターの紹介
- その他、連絡事項

8. 採択後の支援プログラムについて

- ① キックオフ後、7月から翌年3月末まで、メンターにより、月1回(1時間程度)の定例メンタリングを含めた社会実装に向けて伴走支援をいたします。
- ② 10月頃に、STGF申請に向けた研究開発及び事業開発を促進するための「ゲームチェンジャー賞」への申請を受け付ける予定です。申請に係る詳細は決まりしだい、採択者へご連絡いたします。
- ③ 採択者は、翌年3月末に実施予定の最終報告会にて、活動成果の発表をしていただきます。詳細は決まりしだいご連絡いたします。
- ④ その他、イノベーションデザイン機構の取組みとして、学内外のネットワーキングや研修などのイベントを実施することがあります。その際に、ご参加のお願いすることがありますので、ご協力をお願いします。

9. その他の留意事項

- ① 申請書の内容については、学外審査員に情報を開示することがあります。審査員に開示する際は、守秘義務を課しますが、申請書作成の際には十分ご注意ください。
- ② 採択された課題については、イノベーションデザイン機構のWEBサイト等において、研究代表者名、課題名称、概要等を公開することがありますのでご了承ください。
- ③ 本公募要領は、予告なく改訂することがあります。改訂した場合、本公募要領の右上のバージョン数を上げるとともに、イノベーションデザイン機構のWEBサイトにて改訂概要をお知らせします。

10. 問合せ先

イノベーションデザイン機構(担当:藤井・戸塚)

E-mail:venture@cim.isct.ac.jp

以上